

2025年4月24日

ローム株式会社

第5回を記念して規模を拡大し、ピアノ界の頂点に立つ巨匠ミハイル・プレトニョフが出演 「Ken Sato Memorial Concert Vol.5」の開催決定

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人ロームミュージックファンデーション(京都市)は、2025年10月31日(金)に「Ken Sato Memorial Concert Vol.5」を開催いたします。

かつてピアニストを目指していたローム株式会社の創業者 佐藤研一郎(1931年～2020年)は、経営者でありながら自身の愛する音楽文化の普及と発展に貢献するため、ロームミュージックファンデーションを設立し、数多くの支援活動を行ってきました。そしてその意志を末永く紡いでいこうと2022年1月よりスタートしたのが「Ken Sato Memorial Concert」です。「お客様にお喜びいただけること」を大切にしていた故人の想いに沿って、ロームシアター京都のステージを彩り豊かな花々で飾り、ピアノを中心とした一流音楽家によるプログラムをお届けします。



佐藤研一郎(Ken Sato)



ミハイル・プレトニョフ

【Ken Sato Memorial Concert Vol.5のプログラムは・・・】

これまでのVol.1～Vol.4はピアノのみのソロ公演で実施して参りましたが、記念すべき5回目となる今回は規模を拡大し、ロームシアター京都メインホールにてオーケストラとのコンチェルトを披露します。ピアニストは、完璧にコントロールされた美しい音色で、世界でカリスマ的人気を誇る巨匠ミハイル・プレトニョフが出演。指揮者 高関健と京都市交響楽団と共に、2つのコンチェルトを奏でます。

【ショパンの大家 海老彰子がプロデュース！】

本公演のVol.2に出演した、日本が世界に誇る本格実力派ピアニストの海老彰子が、今回のVol.5からVol.9までの計5公演をプロデュース。世界のビッグアーティストを招聘し、より充実した内容でピアノを中心としたコンサートをお届けする予定です。

【公演概要】

- 公演名 : Rohm Music Foundation
Ken Sato Memorial Concert Vol.5
～世界の巨匠が奏でる極上のモーツァルト～
- 日程 : 2025年10月31日(金) 19:00開演(18:00開場)
- 会場 : ロームシアター京都 メインホール (京都市左京区岡崎最勝寺町 13)
- 出演者 : ミハイル・プレトニョフ(ピアノ)
高関健(指揮)
京都市交響楽団(管弦楽)
- 曲目 : モーツァルト:交響曲 第1番 変ホ長調 K.16
モーツァルト:ピアノ協奏曲 第24番 ハ短調 K.491
モーツァルト:ピアノ協奏曲 第26番 二長調 K.537「戴冠式」
- 入場料 : S席 7,000円 / A席 6,000円 / B席 5,500円 / C席 5,000円 (全席指定・消費税込)
- チケット販売 : 2025年4月24日(木) otonowa (075-252-8255)他にて販売開始
- 主催 : 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

※本コンサートについてオンライン配信の予定はございません。

【Ken Sato Memorial Concert を企画するにあたって】

プロデューサー:海老彰子



©Akira Muto

ご縁があり、2023年1月、Ken Sato Memorial Concertで演奏いたしました。かつてピアニストを目指していた佐藤研一郎様が、大好きだったというショパンの作品ばかりでプログラムを組み、美しい花と香りにすっぽり包まれながら演奏した日は、忘れがたい一日になりました。

その前日には、ピアニストの夢を封印し新製品の研究・開発に没頭されたこと、創業した企業を世界的に発展させたこと、その中で音楽を愛する気持ちを「音楽文化の支援」という形で表現されたことなどを知り、驚きました。故人を慕う方々の言葉の端々には限りない敬愛の念が宿っていて、深い感銘を受けました。ご自宅で愛奏されていたピアノに触れることが出来たのも、良い思い出です。

佐藤様が音楽家を支援するきっかけは、一人のピアニストのサポートだったと伺いました。その後、支援する人を増やし継続され、今や日本の音楽界にとって、なくてはならない存在です。

私は、ピアノとともに、拠点を持つパリや日本はもちろん、ヨーロッパ各国、アメリカ、カナダ、中南米、ロシア、中国、中近東、エジプトなど各地で演奏活動しております。「Ken Sato Memorial Concertを、ピアノを愛した佐藤様の想いを受け、素晴らしいピアニストによる演奏会にしたいので協力して欲しい」との依頼を受け、私の海外での経験と知己が役に立つのであれば、微力ながらもお応えしたいと思っております。

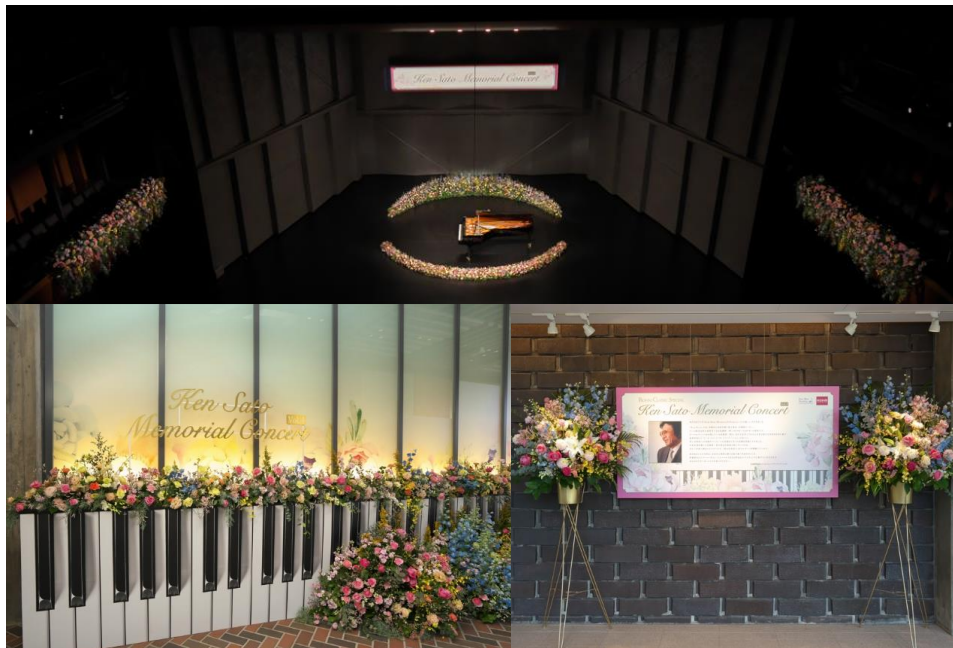
その第1回目となる公演を、ピアノ界の頂点に立つミハイル・プレトニョフ氏が飾って下さいます。プレトニョフ氏が厚い信頼を寄せる高関健氏の指揮、京都市交響楽団との共演で、モーツァルトのピアノ協奏曲2曲をお聴きいただきます。

一夜限りの、特別な公演です。

音楽がホールに満ち、音楽を愛する方々と集う日になることでしょう。そしてその様子を天国の佐藤様も喜んでくださると思います。

【会場を彩り豊かな花々で装飾】

「Ken Sato Memorial Concert」は美しいお花で会場を飾り、お客様をお迎えいたします。



©佐々木卓男

前回の会場(ロームシアター京都 サウスホール)の様子

以上

Ken Sato Memorial Concert

Vol.5

～世界の巨匠が奏でる極上のモーツァルト～

ミハイル・プレトニョフ

Mikhail Pletnev [ピアノ]

2025 10.31 | 金 | 19:00 開演 (18:00 開場)

ロームシアター京都 | メインホール |

S席 7,000円 / A席 6,000円

B席 5,500円 / C席 5,000円 (全席指定・消費税込)

【チケットお取り扱い】

- ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201
- 京都コンサートホールチケットカウンター 075-711-3231
- Web購入可(共通) <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード:289-460
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード:56172
- イープラス <https://eplus.jp/otonowa/>
- otonowa 075-252-8255
- エラート音楽事務所 075-751-0617 ※電話予約のみ

《お問合せ》otonowa 075-252-8255

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※都合により内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【主催】公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション



©Irina Shymchak

オール・モーツァルトプログラム

交響曲 第1番 変ホ長調 K.16

ピアノ協奏曲 第24番 ハ短調 K.491

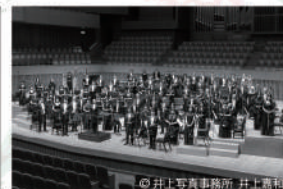
ピアノ協奏曲 第26番 ニ長調 K.537 「戴冠式」



©K.Miura

高関健 [指揮]

Ken Takaseki



©井上写真事務所 井上高利

京都市交響楽団 [管弦楽]

City of Kyoto Symphony Orchestra

Ken Sato Vol.5 Memorial Concert

～世界の巨匠が奏でる極上のモーツァルト～

経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力した佐藤研一郎。数多くの音楽文化支援活動を行ってきた故人の功績を称え、美しい花々に彩られたステージで一流の音楽家によるコンサートをお届けします。

Ken Sato Memorial Concert を企画するにあたって

プロデューサー：海老彰子

ご縁があり、2023年1月のKen Sato Memorial Concertで、かつてピアニストを目指していた佐藤研一郎様が大好きだったというショパンの作品ばかりのプログラムを演奏いたしました。佐藤様が、音楽を愛する気持ちを「音楽文化の支援」という形で表現された活動は、長年にわたり支援する人を増やし継続され、今や日本の音楽界にとって、なくてはならない存在です。ご自宅で愛されていたピアノに触れることが出来たのも、良い思い出です。私は、パリと東京を拠点に、欧米各国、ロシアや中国など各地で演奏活動をしております。「ピアノを愛した佐藤様の想いを受け、素晴らしいピアニストによる演奏会にしたいので協力して欲しい」との依頼を受け、私の海外での経験と知己が役に立つのであれば、微力ながらもお応えしたいと思っております。その第1回目となる公演を、ピアノ界の頂点に立つミハイル・プレトニョフ氏が飾って下さいます。プレトニョフ氏が厚い信頼を寄せる高関健氏の指揮、京都市交響楽団との共演で、モーツァルトのピアノ協奏曲2曲をお聴きいただけます。一夜限りの、特別な公演です。音楽がホールに満ち、音楽を愛する方々と集う日になることでしょう。



海老彰子 Akiko Ebi

ロン＝ティボー・コンクール第2位グランプリ、ショパン・コンクール第5位入賞。パリと東京を拠点に、マルタ・アルゲリッチとのデュオなど国際的に演奏活動を展開。豊かな経験と深い考察力を備え、世界各国でのマスタークラス、2025年第19回ショパン・コンクール等主要国際コンクールで審査員を務めるなど、後進の育成にも力を注いでいる。日本ショパン協会会長。横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員長。令和6年度文化庁長官表彰を受賞。

©Akira Muto



《佐藤研一郎が所有していたピアノ》
©Tatsuo Sasaki

佐藤研一郎と音楽

<1931年～2020年>

半導体、総合電子部品メーカーであるローム株式会社の創業者、佐藤研一郎はかつてピアニストを目指し研鑽を続けていましたが、思うような結果が出ずにその夢を諦め、1958年に起業しました。音楽とは異なる道を歩み始めてからも音楽を愛する気持ちを持ち続けた佐藤は、音楽文化支援活動でその想いを形にしていきます。1965年から始まったその活動を継続的かつ安定的に実施するために、1991年に私財を投じて「財団法人 ローム ミュージック ファンデーション」(現在は「公益財団法人」)を設立しました。様々な事業を行う中で、佐藤は特に若い音楽家の支援に力を入れていました。それは自身が「音楽家になることの苦勞」を一番理解していたためです。そして「チケットを買って聴きに来てくれる人がいるから、舞台上で弾こうって気にもなる。音楽っていうのは、一人だけで上手に弾けるようになるわけじゃない。支援の目的として聴衆の輪を広げるのも大事なこと。」とも考えていました。その想いはいつまでも色褪せることなく、ローム ミュージック ファンデーションの理念に受け継がれ、現在も多くの音楽家への支援、そして音楽に親しんでいただく機会を増やすことへ繋がっています。



ミハイル・プレトニョフ [ピアノ]

Mikhail Pletnev

プレトニョフは、ピアニスト、指揮者、作曲家、とそれぞれの分野において並外れた才能を発揮し、世界中の観客を魅了している芸術家である。

1957年、音楽家の両親のもと、ロシアのアルハンゲリスクに生まれ、幼少の頃から音楽に非凡な才能を示す。13歳で中央音楽院、1974年モスクワ音楽院に入学。ヤコフ・フリエール、レフ・ヴラセンコに師事した。1978年、21歳でチャイコフスキー国際コンクール・ピアノ部門においてゴールド・メダル及び第1位を獲得。驚くべき技巧、深い知性に裏づけられた演奏、完璧にコントロールされた美しい音色で、カリスマ的人気を誇る現代最高のピアニストの一人として活躍。

1990年、ロシア内外の個人、会社、財団等の支援によって資金を得、オーケストラ、ロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)を創設。彼の舞台芸術ビジョンに賛同して、国内の多くの優れた音楽家たちがこのRNOの始動に参加。そして彼のリーダーシップのもと、RNOは数年のうちに世界有数のオーケストラとして認められるようになった。客演指揮者としてもロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団をはじめとする数々のオーケストラを指揮。2011年2月13&14日にはドレスデン空爆記念日演奏会にてドレスデン国立歌劇場管弦楽団を指揮し、ブラームスの「ドイツ・レクイエム」を演奏した。またポリシヨイ・オペラにおける「スペードの女王」の指揮で大成功を収めているほか、コンサート形式のオペラ指揮も行っている。

2015年より東京フィルハーモニー交響楽団の特別客演指揮者に就任。作曲家としては、「Classical Symphony」、ジャズ組曲、ヴィオラ協奏曲、ほか数多くの作品を発表し、近年ではスティーヴン・イッサーリスのために書いたチェロ・ソナタが大成功を収めている。

2022年、プレトニョフは新たなオーケストラ、ラフマニノフ国際管弦楽団(RIO)を創設、東西ヨーロッパの優れた音楽家がスロヴァキアのブラティスラヴァに集まり、最初のレコーディングを行った。今後多くのレコーディング・プロジェクトおよびコンサート・ツアーが予定されている。

高関健 [指揮]

Ken Takaseki



©K.Miura

緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィル常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者、サンクトペテルブルグ・フィルなど海外への客演も多い。團伊玖磨「夕鶴」や新国立劇場でのストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」、チャイコフスキー「イオランタ」などオペラでも高評価を得る。第50回サントリー音楽賞などを受賞。

X (旧 Twitter) @KenTakaseki

京都市交響楽団 [管弦楽]

City of Kyoto Symphony Orchestra



©井上写真事務所 井上嘉和

1956年創立。日本で唯一、自治体が運営に責任を持ち、身近な存在として、市民に愛され誇りとされる「文化芸術都市・京都の象徴となる」オーケストラを目指している。23年第14代常任指揮者に沖澤のどか、24年首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリースが就任。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動等、多彩な活動を行っている。

音楽を育み、豊かな文化を。

ローム ミュージック ファンデーションは音楽文化の発展・普及のためにこれからの音楽界を担う若い音楽家の育成や、音楽をより身近にするため多くのコンサートを開催・支援することで聴衆の拡大を目指しより良い社会づくりに貢献していきます。

事業の詳細はこちら

